JAPAN BARS

整理番号	: 6042	制定日	: 2009/8/5
版番号	: 6	改訂日	: 2025/6/25

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品

製品名	: アミックス ATF D3-SP
製品コード	: 08700-K9004、08700-K9025
推奨用途	: 自動車のオートマチックトランスミッション油
使用上の制限	: 推奨用途以外には使用しないこと

会社情報

会社名	: 日本バーズ株式会社
住所	: 〒530-0047 大阪市北区西天満３丁目1−26
担当部門	: 研究開発部
電話番号	: 072-773-1000
ファックス番号	: 072-784-0584

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS 分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

シンボル

なし

注意喚起語

—

危険有害性情報

—

注意書き

安全対策

—

応急措置

—

保管

・ 子供や認知症の方等の手の届かないところに保管すること。

廃棄

・ 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量(危険有害成分)

成 分 名	含有量(%)	CASNo.	化審法No.	安衛法No.	PRTR法No.
鉱油	70~80	非公開	非公開	168	非該当

・ 化審法No. : 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号
・ 安衛法No. : 労働安全衛生法第 57 条の２ 通知対象物質の政令番号
・ PRTR法No. : 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 指定化学物質の種別及び政令番号

他に危険有害性の基準に該当しない潤滑油添加剤を含有する。

4. 応急措置

吸入した場合	:	気分が悪いときは、空気の新鮮な場所で安静にする。気分が回復しない場合は、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	汚染した衣服を脱ぎ、石鹸や皮膚用の洗剤を使って水でよく洗い流す。異常があれば、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	直ちに清浄な流水で 15 分以上、瞼の裏まで完全に洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	:	水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識のない場合は、口から何も与えてはいけない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	:	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
使ってはならない消火剤	:	情報なし。
特有の消火方法	:	可燃物を周囲から取り除き、高温にさらされる周囲の設備には水をかけて冷却する。
消火を行う者の保護	:	保護具を着用し、風上から消火活動を行なう。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	:	作業の際には、必ず保護具を着用し、風上で作業を行う。
環境に対する注意事項	:	流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	漏出源を遮断し、漏れをとめる。少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策	:	風下の人を避難させる。漏洩した周辺には、ロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:	火気厳禁。電気機材は防爆構造にする他、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。次節に記載してある保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	:	高温物、スパーク、火炎を避け、酸化性物質との接触を避ける。
接触回避	:	「10. 安定性及び反応性」を参照する。

保管

安全な保管条件	:	保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は全て接地する。風通しの良い冷暗所に保管する。直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。水のかかる所や湿気の多い所に置かない。車室内に放置しない。
安全な容器包装材料	:	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

成分の暴露濃度基準

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH(TLV)
鉱油	未設定	3mg/m^3 (鉱油ミスト)	TWA 5mg/m^3 (鉱油ミスト)

設備対策	:	屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、位置を明確に表示する。

保護具

呼吸用保護具	:	換気の良い場所での通常の条件下では不要。
手の保護具	:	必要に応じて、保護手袋(ゴム製、ポリエチレン製などの不浸透性素材のもの)を着用する。
目の保護具	:	必要に応じて、保護眼鏡(側板付き普通眼鏡、ゴーグル型など)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	:	長袖の作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	液体

色	：	赤色透明
臭い	：	わずかな臭気
融点／凝固点	：	データなし
沸点／初留点及び沸騰範囲	：	250℃以上
可燃性(ガス、液体及び固体)	：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	：	(下限)1.0%　　(上限)7.0%
引火点	：	190℃(クリーブランド開放式)
自然発火点	：	データなし
分解温度	：	データなし
pH	：	データなし
動粘性率(動粘度)	：	35.7mm^2/s (40℃)
溶解度	：	非水溶性
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び／又は相対密度	：	0.86g/cm^3(15℃)
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	：	安定。
化学的安定性	：	室温では安定。
危険有害反応可能性	：	知見なし
避けるべき条件	：	火気、熱源
混触危険物質	：	強酸化性物質、強酸、強塩基、ハロゲン類
危険有害な分解生成物	：	燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	：	区分に該当しない	LD_{50}>5,000mg/kg(ラット)
急性毒性(経皮)	：	区分に該当しない	LD_{50}>5,000mg/kg(ラット)
急性毒性(吸入－粉塵、ミスト)	：	区分に該当しない	LC_{50}(4 時間)>5mg/L(ラット)
皮膚感作性	：	区分に該当しない	モルモットを用いたビューラーテストで感作性はなしとの結果。
生殖細胞変異原性	：	区分に該当しない	広範囲な変異原性試験(in vivo 及び in vitro)が実施されているが、変異原性を示す結果は得られていない。
発がん性	：	区分に該当しない	各種動物への皮膚暴露試験から、発がん性はなしとの結果。IARC では高度精製油はグループ3(ヒトに対して発がん性について分類できない)に分類され、ACGIH でもほぼ同様の分類がなされている。
生殖毒性	：	区分に該当しない	ラットによる発育毒性及び生殖毒性試験で生殖毒性なしという結果。

12. 環境影響情報

水にはほとんど溶解しないため、水生生物への汚染を生じる。

魚類急性毒性	：	96 時間 LL_{50}>100mg/L(魚類 ファットヘッドミノー)
魚類最大無影響量	：	14 日間 NOEL>100mg/L(魚類 ファットヘッドミノー)
甲殻類遊泳阻害	：	48 時間 EL_{50}/NOEL>100mg/L(甲殻類 オオミジンコ)
甲殻類最大無影響量	：	21 日間 NOEL>10mg/L(甲殻類 オオミジンコ)
藻類最大無影響量	：	NOEL>100mg/L(藻類 セレナストルム)
微生物発光阻害	：	微生物の発光試験(4 日間)による発光阻害は確認できなかった。
水生環境有害性　短期(急性)	：	上記試験結果から区分に該当しない
水生環境有害性　長期(慢性)	：	上記試験結果から区分に該当しない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄処理業者と委託契約をして、処理を委託する。
汚染容器及び包装	：	中身を使い切ってから廃棄する。製品が付着している容器も廃棄物として適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	：	非該当
国連分類	：	非該当
容器等級	：	非該当
海洋汚染物質	：	非該当

国内規制

陸上規制情報	：	消防法の定めるところに従う。
海上規制情報	：	船舶安全法、港則法の定めるところに従う。
航空規制情報	：	航空法の定めるところに従う。
共通注意事項	：	取扱い及び保管上の注意の項を参照するほか、運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

15. 適用法令

消防法	：	危険物 第四類第三石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	：	
表示対象物質	：	鉱油
通知対象物質	：	鉱油
PRTR法	：	非該当
毒物及び劇物取締法	：	非該当
船舶安全法	：	非該当
港則法	：	非該当
航空法	：	非該当
海洋汚染防止法	：	油分排出規制(原則禁止)
下水道法	：	鉱油類排出規制(許容限度 5mg/L 以下)
水質汚濁防止法	：	鉱油類排出規制(許容限度 5mg/L 以下)
廃棄物処理及び清掃に関する法律	：	産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

主な文献

JIS Z 7253-2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JIS Z 7252-2019 GHS に基づく化学品の分類方法
GHS 分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構－NITE) ※1
危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)
緊急時応急措置指針(日本規格協会)
原料メーカーの安全データシート ※2

※備考

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
記載の評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。取扱う事業者は、本データシートを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処理を講ずることが必要であることをご理解の上で活用されるようお願いいたします。

改訂情報

第1版	2009年8月5日	：	初版発行
第2版	2012年10月12日	：	JISZ7253(2012)様式
第3版	2016年3月1日	：	分類見直し
第4版	2016年6月1日	：	安衛法改正
第5版	2022年4月1日	：	書式変更　JISZ7253(2019)様式
第6版	2025年6月25日	：	製品名、製品コード変更